

2021年度 特別研究期間制度 適用者

所属	氏名	職位	種別	期間	主たる研究国	主たる研究先	研究題目	研究報告	備考
文	出光 佐千子	准教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	本学	池大雅の「真景図」再考～中国実景図との比較研究～	学術雑誌『國華』第1529号 特輯池大雅－生誕300年記念－『「寿老四季山水図」について』 2023年3月刊行予定。 『池大雅の「真景図」論攷-中国文化憧憬の思想芸術』（中央公論美術、出光文化福祉財団助成）2023年3月刊行予定。	
	瀧野 耕一郎	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	本学	ロジェ・カイヨワとその時代(1913-1978)	特別期間中は、カミュの中編小説『転落』をアルジェリア戦争の勃発という文脈の中に置き直して分析し直す論文、暗所恐怖に関する思想の系譜をイギリスのジョン・ロックからフランスのロジェ・カイヨワ、エマニュエル・レヴィナス、モーリス・メルロ＝ポンティまで辿り直した論文を執筆したほか、ボリス・スヴァーリンとその周辺にいた知識人たちが、1933年ごろから第二次世界大戦が勃発する1939年ごろまでどのような思想を育んだかを明らかにした論文の加筆修正を行った。	
	井田 尚	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	本学	『百科全書』におけるデイドロ無署名項目に関する研究	・『百科全書』の無署名項目群から編纂者で啓蒙思想家・作家のドミニク・ディドロによる執筆項目を絞り込み、文体、語彙、発想などから有力な候補となる項目のカード・データベースを作成し、ディドロの無署名項目の認定方法をめぐる問題提起を兼ねて、複数の実例の分析および認定の試みを以下の論文で行ない、研究成果として公表した。 ・井田尚、「無署名項目の書き手の特定は可能か？『百科全書』におけるディドロの項目の認定基準とその余白」、『青山フランス文学会論集』、30号、2021年、5-32頁。	
	外岡 尚美	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	本学	現代パフォーマンス・アートおよび演劇における痛みと共同性について	哲学・文学・文化研究における情動理論、および演劇学と関連領域における身体と情動・ネオリベリズムについての先行研究を精査し、演劇において身体が喚起する情動に媒介される関係性のなかでの主体構成について考察した。九州アメリカ文学会の招待を受け成果の一部を講演したが、2022年度科学研究費の採択も受け、単著『身体と情動の政治』（仮題）の執筆を準備している。	
	稲生 衣代	教授	長期 (1年)	2021.9.1 ～ 2022.8.31	日本	本学	通訳者養成に関する研究	通訳教育および通訳者養成について考察を進めた。最近では、遠隔通訳や遠隔授業が導入される例にみられるように、テクノロジーの変化や時代の流れを受けて通訳の現場、通訳者を取り巻く環境、そして通訳教育に変化が起きている。その最新の動向を把握するための調査研究を行った。	
	KNIGHTON, Mary A.	教授	長期 (1年)	2021.9.1 ～ 2022.8.31	日本	本学	(1) Insect Subjects: Posthumanism in Modern Japanese Literature and Culture (2) Silk Triangles: The Surprisingly Global Story of One Small-Town American Silk Mill (3) William Faulkner's Modernist Nympholepsy	During my sabbatical, the war in Ukraine began. Daily news about it reminded me of wartime Japan depicted in modern literature. I completed and published a translation into English of Kōno Taeko's wartime story <i>Hei no naka</i> 「塙の中」, which is based on her experience of war as a girl growing up in Osaka. The translation appears as "On the Inside" together with a critical essay about the story, "Toddler-Hunting in Wartime: Kōno Taeko's 'On the Inside.'" Both appeared in <i>Japanese Language and Literature</i> , Vol.56, No.2 (2022) [https://jll.pitt.edu/ojs/JLL]. Moreover, I presented on Japanese insect literature and culture at Center for East Asian Studies (CEAS) at UT Austin, "Entomological Poetics: Reading for Insects in Japanese Literature and Culture" (https://liberalarts.utexas.edu/eastasia/events/past.html).	
経済	堀 真理子	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	本学	現代英米演劇におけるエコロジーとカタストロフィ表象についての総合的研究	特別研究期間においては、「英米演劇におけるエコロジーとカタストロフィ表象についての総合的研究」というテーマのもと、これまで主として研究してきたサミュエル・ベケットの戯曲におけるエコロジー的視点を、昨今の「人新世」やdeep ecologyといった批評的観点から紐解く試みを行った。その成果は、単著論文「Waiting for Godotにおける『存在の不安定さ』」（『関東英文学研究』第14号、2022年1月発行）に掲載されたほか、研究書 <i>Samuel Beckett and catastrophe</i> （共編著）、および <i>Samuel Beckett and ecology</i> （仮題、共著）にそれぞれ単著論文を収録する予定である。	
	安井 健悟	教授	長期 (1年)	2021.9.1 ～ 2022.8.31	日本	本学	認知能力・非認知能力の形成とそれらの労働市場における評価に関する実証分析	経済産業研究所（RIETI）のディスカッション・ペーパーとして、「中学の強制的な部活動がスキルとアウトカムに与える影響」、「小学校時代の課外・学校外活動と学業、非認知能力、将来の成果との関係—運動と音楽の選択に着目して」、「スキルの保有と利用の実証分析：ICTスキルと英語スキルに着目して」、「認知能力及び非認知能力が賃金に与える影響について」の4本を発表した。これらの4本の論文を査読付学術雑誌に投稿するために、現在改訂を進めている。	

2021年度 特別研究期間制度 適用者

法	大山 和寿	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	本学	法定の優先権のありかたについての研究 法学の授業における看図アプローチの導入	ドイツ法が管理費を不動産担保権の被担保債権に優先させた理由は、管理費が支払われていないと、住居所有権、ひいてはマンション全体の価値が下落し、不動産担保権者にも悪影響が及ぶからである。つまり、言い換えれば、管理費によってマンションの価値が維持されているのであり、不動産担保権者もその恩恵を受けているからである。従前は看図アプローチは共同学習を促進するツールとして期待されていたけれども、講義式の授業でも看図アプローチを活用できるのではないか、と提言した。	
総文	MERKLEJN,Iwona	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	①日本 ②日本 ③ポーランド	①本学 ②東京大学大学院情報学環・学際情報学府 ③ワルシャワ大学日本学科	長期研究テーマ：メディア・リテラシーと多文化教育 短期研究テーマ：ポスト・コロナ世代のメディア・リテラシーの国際的比較	Mothers,Media and Popular Culture in Contemporary Japan(仮の題名)という書籍を(単著)執筆中。Handbook of Japan and Sport (共著、MHM Limited)2023年に出版予定。	
会プロ	小林 裕明	教授	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	日本	①岡山大学経済学部 ②公益財団法人租税資料館	「公正処理基準」の形成要素の類型化及び公正性判断基準の明確化	特別研究期間を通じて、法人税法22条4項の成り立ち、及び企業会計と課税所得計算との関係性の解明をテーマとして研究を継続した。税務会計研究学会第33回大会において、「法人税法22条4項の制定経緯に関する一考察」と題して報告を行うとともに、報告要旨及び論文全文を学会誌及び学内紀要に掲載した。また、今年度の研究成果に過去からの論稿を加え、企業会計との理論的差異を課税所得計算の諸論点に沿って横断的に検討した。この研究成果を、研究書(『税法と企業会計の接点と乖離』(仮題))としてまとめ、22年8月頃に出版する予定である。	